

①-1 山里口御門復元整備事業

資料1

1. 事業概要

『福井城址』を核とした県都の再生に向けて、福井城址と中央公園の一体的な再整備を進めるため、山里口御門を復元する。

2. 事業主体 県

3. 事業期間

平成25年度～平成28年度

4. 平成25年度事業内容

- ・ 山里口御門基本設計
（規模、外観、構造等）
- ・ 御門周辺石垣修復検討
- ・ 山里口御門復元考証専門
委員会の開催（計3回）
- ・ 山里口御門遺構調査



山里口御門復元予想図

①-1. 山里口御門復元整備事業

5. 平成26年度事業計画

- ①山里口御門、周辺石垣修復実施設計
- ②石垣解体調査
- ③山里口御門復元考証専門委員会（3回程度開催予定）
- ④機運醸成
 - ・ 福井城復元フォーラムの開催（10月頃予定）
 - ・ 寄付金募集・瓦や腰板等の寄付者募集（10月頃開始予定）
 - ・ 石垣解体現場説明会の開催 など

6. 平成26年度予算額

191,347千円



①-2 中央公園周辺再整備

1. 事業概要

県民会館が解体されたことに伴いその跡地を有効に活用するため、隣接する中央公園周辺を、歴史が感じられ、緑の多い開放的な公園として整備

2. 事業主体 福井市

3. 事業期間 平成25年度～平成27年度（第一期整備）

4. 整備スケジュール

25年度 基本計画・基本設計の策定

26年度 実施設計

屋外ステージ・土塁・路上駐車場等撤去

27年度 公園・外周道路整備

5. 平成26年度予算額 60,300千円

①-2 中央公園周辺再整備

<イメージパース>



①-3 県庁線整備

1. 事業概要

福井駅と城址、中央公園をつなぐ動線を、道路空間を再配分することにより歩行空間を充実させ、緑陰や賑わいを楽しむことができるよう整備

2. 事業主体 福井市

3. 事業期間 平成26年度～平成27年度

平成26年度 関係機関調整、実施設計
平成27年度 整備工事

4. 整備方針

- ・ 緑豊かでゆったりとした歩行空間を形成
- ・ 木陰ができる四季折々の表情のある植栽や修景
- ・ 冬でも歩きやすいよう無散水融雪等を整備
- ・ 周辺店舗がオープンカフェ等に利用できる空間

5. 平成26年度予算額 7,000千円



整備箇所



県庁線の現況

②一 1 足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想

1. 目的

本構想は、地域資源に磨きをかけ、これらを活用して、足羽山・足羽川周辺を魅力的な空間へと再形成することを目的に策定した。

この構想を契機として、地域資源を活かした市民活動が活発に展開されるとともに、市民と行政が目標を共有し、協働で取り組むことで、人々が訪れたいくなる魅力的な空間づくりを目指す。

2. 目標年次 2050年（短期目標年次 2018年 福井国体開催）
（中期目標年次 2025年 北陸新幹線敦賀開業）



②-1 足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想

3. 基本構想の全体像(各ゾーンの概要)



[浜町界隈]食と華やぎのおもてなし空間

- ・グリフィス記念館の整備
- ・食の観光誘客施設の整備
- ・落ち着いたあまなみの形成

[旧北陸道周辺]歴史と文化の学び空間

- ・住民主体の寺町・商い空間再生
- ・文化や芸術に触れる機会の充実
- ・歴史を通じた郷土愛の醸成と学ぶ場の整備
- ・歴史的建築物を活かした賑わいとくつろぎの創出
- ・散策ツールの充実と景観整備

[足羽山]空と森の出会い空間

- ・足羽山のビクターセンター設置
- ・まちなかの自然を活かした学ぶ場の充実
- ・眺望を活かした空間づくり
- ・足羽山の魅力を活かした景観形成

[三秀園跡界隈]湊と人の賑わい空間

- ・歴史資源を活かした地域づくりの推進
- ・歴史と文化の親水空間整備

[足羽川]自然と水辺の憩い空間

- ・河川空間の環境保全と利活用の機運醸成
- ・まちなか観光発信機能の設置
- ・河川空間の賑わい創出と親水空間整備

②一1 足羽山・足羽川周辺空間再形成基本構想

4. 基本構想に関連した市民活動

足羽山・足羽川周辺の豊富な地域資源を、市民が誇りと愛着を感じながら再認識し、その資源を活かした様々な活動を行うことで、地域の魅力の更なる向上とともに観光誘客にもつなげる。



福井あすわ歴史道場

足羽地区を中心として、歴史にまつわる史跡探訪や研修会などを開催



みなと塾

湊地区において、歴史勉強会、歴史マップの作成、小学校への講師派遣などを実施



NPOこみちこまち 浜町推進会議

地域への関心を高めるため、コミュニティデザインコンテストなどを開催



足羽三山の SATOYAMAを守る会

足羽三山の豊かな生態系や美しい景観を守るための活動を実施

②-2 グリフィス記念館(仮称)整備

1. 事業概要

福井藩初の留学生 日下部太郎との親交を縁に、福井藩お雇い外国人教師として来福したグリフィスが住んでいた福井初の洋館をイメージした記念館を整備

2. 事業主体 福井市

3. 事業期間 平成25年度～平成27年度

4. 平成26年度予算額 125,000千円



模型(実際は縦横8m×8mの洋館)



実際の写真

ウィリアム・エリオット・グリフィス
(1843年～1928年)

米国生まれ。福井藩に教師として招かれ、藩校「明新館」で英語、物理、化学を教えた。

福井に日本最初の「米国式理科実験室」をつくり、帰国後は、著書「皇国」で福井や日本を紹介。1926年に、政府から勲三等旭日章を贈られた。



②-3 由利公正広場整備事業

1. 事業概要

地域の歴史を実感できるように、由利公正居宅跡に近い足羽川の幸橋南詰上流側に、幕末・明治初期の偉人の旧跡を巡るまちなか散策スポットとして、由利公正広場を整備

2. 事業主体 県

3. 事業期間 平成25年度

4. 整備内容

- ・ 由利公正像（中央公園から移設）
- ・ 由利公正功績説明板、議事之体大意展示
- ・ 植樹（スダジイ、シラカシ）
- ・ 周辺観光案内板
- ・ ベンチ3基



広場全景



完成式(H26.3.29)